

薬剤師の価値の臨床的根拠

Clinical Evidence of Value of Pharmacists

問題意識；

1) 薬剤師は人減らしされている

(薬剤師定数 “ 緩和 ”)

2) 薬剤師独自の業務 ?

(“ 姿の見えない薬剤師 ” 論議)

3) 医師の処方権、薬剤師の調剤権

. “ 薬剤師なんて要らない ” の？

ファーマシューティカルケアと薬剤師の処方権

(Pharmaceutical Care and Prescription right)

- 軽度かつ自己軽快する疾患は薬剤師が治療すれば良いのではないか（まずはAilment から。）
- 病院が病気を作る側面・・・・・・・・医療過誤を減らす
- プライマリ・ヘルスケアの前線基地・・・・・・・・地域薬局
- スイッチOTCによる施薬ガイドラインを策定せよ
- “ミニ・ドクター”では不満か？
- Are you an apothecary or a pharmacist ?
- 誇り高き職としての薬剤師

薬剤経済学 pharmacoeconomics

- 医療経済学の一分野
- 日本では（？）薬価の設定に利用され始めている
 - しかし、PEは国家レベルの話だけではない

• 経済分析指標

- 費用最小化分析(CMA)
- 費用効果分析(CEA)
- 費用効用分析(CUA)
- 費用便益分析(CBA)

データ統合型研究（メタ分析、臨床決断分析）などを参考にする

- Outcome Research Donabedian
- 医療の質保証・医療の標準化

薬剤疫学 pharmacoepidemiology

- 副作用の学
- 薬剤の評価に疫学的手法を使うもの
- EBMの教科書での副作用の取り扱いは不十分
(まずproblemありき、では副作用を発見できず)

今後の薬剤師の職能はどうなっていくのか

1) 薬剤師独自の業務

- ・ 調剤はpharmacy technicianや機械任せに
- ・ 薬学的ケア・プラン作成
- ・ 薬物療法の経済的な評価
 - ・ コストの削減とコスト回避
- ・ 薬物療法の安全性確保

2) 病院薬剤師の高次機能 (CIO: Chief Information Officer)

- ・ 在庫管理全般の責任者
- ・ 医療情報 (薬物・経営・医療技術) の収集・評価
 - ・ Evidence-Based Medicine

まとめの10箇条

- 1) 薬剤師が病院経営に役立っていることを証明しよう！
- 2) 薬剤師がプロの職能集団として社会的に自立してこそ、医療の安全性が確保できる
- 3) 誇り高き職種としての薬剤師
- 4) まずは同じ考えを持つ仲間を探すべし
- 5) “薬”という物体を売る商売から、医療に関するあらゆる情報の集積所へと変化していく職能
- 6) 英語は不得意でも、パソコンは得意！！（なんでしょ？）
- 7) 薬局の調剤料と病院の調剤料を比較して仲違いするなんて？
- 8) 解剖・出産・死に立ち会う経験・・・医師・看護婦にはある
- 9) 医療人共通の倫理とスキル・・・救急蘇生くらい覚えて
- 10) 肌に触れることを懼れるべからず